

投資事業評価調書 (新規)

課室名	港湾課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	港湾課長 高崎 伸彦 (藤原謙治)	内線	4 4 4 0 (4 4 5 5)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	------------------------

事業種目	事業名	事業区間	総事業費	約 2 億円
港湾事業	港湾利用高度化促進事業 (放置小型艇収容緊急整備事業)	東播磨港 (二見地区)		
所在地			着工予定年度	完成予定年度
明石市二見町地先			平成14年度	平成15年度
事業目的		事業内容		
放置艇対策の推進 東播磨地域の放置艇は約2,400隻あり、このうち特に放置が多い二見地区(放置隻数640隻)の早期解消を目指し、ポートパークの整備を行う。		浮棧橋 6基 (係留能力 120隻)		
評価視点	評価結果の説明			
(1)必要性 安全・安心	生活や産業活動における安全度の増進 放置艇によるトラブル(航路障害等)防止を図る 不法駐車・ゴミ等の不法投棄を解消する			
地域の活性化	東播磨地域プレジャーボート係留施設の充足率の向上(36→41%) 健全な海洋性レクリエーション活動の向上を図る			
快適性・ゆとり その他	東播磨港のポートパーク等の現況 二見地区BP 浮棧橋 21基 420隻供用中(収容率100%): H11完 西二見地区BP 浮棧橋 5基 100隻 " (収容率100%): H12完 尾上地区PBS 物揚場316m 110隻 " (収容率99%): H9完 播磨地区BP 浮棧橋 7基 240隻工事中: H13完了予定 播磨町フィッシャリーナ計画(約100隻)を実施予定			
(2)有効性・効率性 有効性	放置禁止区域等の規制措置が推進され、規制と施設整備の両輪により秩序ある港湾利用が可能となる 不法駐車・ゴミ投棄の解消により周辺生活環境や港湾景観の改善が図れる 所有者の確認ができ、情報伝達・広報活動が円滑となる B / C = 2 . 0			
効率性	地元関係者から早期整備を要望されており、工事に対する支障はない 周辺ポートパークは満隻であり、供用後は早期に満隻となる見込み			
(3)環境適合性	浮棧橋形式であり潮流等への影響は少ない 放置艇の減少により、港湾の景観形成上有効である 周辺地域での不法駐車等の解消により景観の向上が図れる			
(4)優先性	放置艇対策は、県の重要課題であり早期推進が必要である 港湾法の改正による放置禁止区域の設定等、規制措置の早期実施のため(東播磨港播磨町以東はH15から規制予定)、プレジャーボート用係留施設の整備促進は不可欠である			
評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた	